

学校づくりと学校事務

～保護者負担の軽減に向けて～

別冊資料

後志支部

仁木町立仁木小学校

金 内 大 輔

本当に必要な教材ですか？

子どもたちに購入させる図工や理科等の教材の採択時にどのような配慮をいただいているのでしょうか。

「学校徴収金」、そして「保護者負担軽減」について考えていきましょう。

1. 義務教育無償の考え方

義務教育無償と言われています。しかし「無償」にも大きく2つの考えがあります。

- ①授業料を取らない
- ②義務教育に要する一切の費用が無償

最高裁の判例によると、憲法上では①の立場をとっています。しかし、その判決の中で私費負担を「軽減するよう配慮する事は望ましい」のだが、「国の財政等の事情を考慮して立法政策の問題として解決すべき事項で」と言っています。つまり、私費負担軽減は、市町村立学校であれば、市町村の努力で解決すべき事項であるということを述べたこととなります。この1964年の判決を前後して授業料以外の無償化が拡大していくこととなりました。

また、現在法律上では、授業料、教職員給与、学校建築費、教科書代は保護者への転嫁が禁止されています。

2. 現在の私費負担の状況と子どもを取り巻く現状

私費負担軽減を目的に昭和42年に、東京都では学校運営費標準（公費負担すべき物を列記したもの）が作られるなどの動きがありました。その後の調査によると、昭和42年→平成12年と比べると、それまで徴収されていた私費が1,164円→0円となりましたが、「受益者負担」は8,915円→48,821円と大幅に増加しました。各地での取り組みがあるようですが、現状としては私費負担が増えていることとなります。

また、現在子どもの貧困問題が深刻化しています。厚労省の平成25年の調査で「子どもの貧困率」が16.3%であり、6人に1人が貧困状態であることとなります。「子どもの貧困対策の推進に関する法律」には徴収金の縮減に関する内容は盛り込まれてはいませんので、今学校現場からの声が必要になってきていると思います。「徴収金が払えないのが嫌で学校に行きづらい」と感じる子どもが1人も出ないように、私たちも考えていく必要があります。

3. 『その教材本当に必要なの?』

経済的にそれぞれの家庭の収入は違います。一律に徴収金を払うと家計における教育費が占める割合は違ってきます。塾や習い事は保護者が判断し支出しますが、徴収金は違います。保護者の考えや判断の余地はあまりありません。そこに保護者が拒否してくることや内容について質問してくることなど全く予想していないと思います。『その教材本当に必要なの』と聞かれて何と答えますか。その答えを用意していますか。

答えるとしたら、学校の予算で措置できない現状からその教材の必要性とその教材が及ぼす教育的効果について親切丁寧に説明しなければならないでしょう。

4. 学校としてしなければならないこと。

このような状況の中、学校としてしなければならないことは何でしょうか。学校全体としては

- ・学校として「保護者負担軽減」についての意志一致をおこなう
- ・公費負担になるように予算の増額を設置者に要求する となります。次に、

(1) 事務職員がしなければならないこと

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">① 予算要求時に設置者に予算の現状を説明する② 予算の校内配分時に保護者負担が軽減されるよう支出の工夫をする |
|---|

(2) 担任、教科担任がしなければならないこと (教材の採択の時に考慮すべき事)

- ①同等の効果が期待できるお金をかけない方法に変更できないか
- ②期待される効果が同じであれば、より安価なものに変更できないか
- ③他社で価格が低い物がないか
- ④どうしても学校が徴収しなければならない物なのかを考える
- ⑤保護者に過重な負担にならないかを考える

があげられます。

5. 今までやってきたこと

2010年度

- ・5・6年家庭科調理実習調味料代を公費負担 (6,073円)
- ・卒業式アレンジメントを公費に (1万円)

2011年度

- ・調理実習材料代 (調味料代を含む) 2.5万円
- ・入学式アレンジメント代 1万円
- ・社会科資料集@620程度
- ・理科学校保管教材 (1or2種類)
- ・家庭科・図工等で全員分まとめて購入できる物 1万円程度

2013年度

- ・書写用半紙代 (昨年度途中から実施)
- ・学校掲示用入学式・卒業式写真 (今年度から PTA 会費から公費支出へ)
- ・業者テスト一人400円程度 (新規) (国語 or 算数)
- ・算数セットを学校保管に (人数分購入) 約4万円

2014年度

- ・業者テスト一人800円程度 (国語)

6. 今後しなければならない事

- ・教育委員会への働きかけ
- ・担任が購入教材を選定する場合に考慮する (上記4. (2))
- ・予算執行に関わって、更に保護者負担軽減を進める

資料 2

各種疑問点の調査

グループ1

保護者負担に頼らない教育活動を目指している自治体について調べる。（こういった費用を無償としているのか、あるいは目指しているのかなど）また、無償としている場合には、そこに至る経緯などについても可能な範囲で調べてみる。

- ① 前任校での状況について報告。保護者負担に頼らないといった決めごとを設けていたわけではないが、準教科書補助教材費の配分など予算が割と潤沢であったことから保護者負担をなくした。町費で賄っている教材については一覧を保護者に提示した。
- ② 各自治体における無償化の資料では、給食費を無償としているところが結構多かった。給食費を無償にしたことによって人口が増えたとの記事もあった。

グループ2

各地で制定されている私費負担区分表について調べる。また、10年ほど前に、ある研究グループが都の事務研究大会で私費負担区分表の改正案を提案しているようなので、それについても調べてみる。

- ① 東京都公立学校事務職員会の会報資料より。2005年開催の第41回研究大会で提言されていたようであるが、残念ながら資料は見つからず。会報の発行元である東京都公立中学校事務職員会の研究グループが主体となって発表したのではないかと思われる。その内容は「東京都義務教育学校運営費標準」を示していたのではないかと考えられる。義務教育における私費負担の解消について書かれているが改正された様子はない。改正案が書面で存在するのかどうかについても不明。岐阜県・岡山県・大分県・宮崎市でのガイドラインやマニュアルについて資料提供。道内では釧路町が学校徴収金負担軽減基準を出している。
- ② 自治体によっては判断基準（ガイドライン）を設けているところがあった。横浜市の区分表の説明の中に直接的利益とあったが、何を指すのかがよく分からなかった。仙台市の資料は監査を受けての結果報告。公費・私費負担区分について、関連法令も載っているので参考になるのではないか。小牧市では、教育委員会発行の資料の中に、負担区分の考え方について「何を購入するか」ではなく、「何のために購入するか」で決まるとの記述があった。学校備え付けにして共用にするなど、保護者の負担が少なくなるような方法を考えてほしいとの記述も見られた。

グループ3

制度上（法令上）どうなっているのかを調べる。（学校建築費は集めてはいけない、など）また、公費・私費負担の在り方や公教育の無償に向けた内容などを取り扱っている書籍についても調べてみる。

① 憲法第26条に「義務教育は、これを無償とする」とあるが、その範囲を考えなくてはならない。教育基本法・学校教育法では、「授業料を徴収しない・することができない」とある。教科書については、昭和38年に無償とする法律が制定されている。義務教育費国庫負担法では、「義務教育無償の原則に則り」と謳われている。地方財政法では、「住民に負担を転嫁してはならない」とある。学校建築費がそれに該当していると思われる。法律ではないが、子どもの権利条約・世界人権A規約において、「初等教育は義務的なものとし、すべての者に対して無償とする」とある（日本も批准）。現状、無償の範囲については、「すべて無償」と「授業料のみ無償」の考え方が存在する。教科書代を巡る裁判では、最高裁において「授業料以外の費用を無償とするか否かは立法裁量にゆだねられる」との判断が示されている（1964年）。したがって、すべてのものが無償の範囲とも読み取れる。この判決を機に公費負担が増えていった。私たちのこの考え方を、自信をもって広げていってよいのではないかと。

② 「学校事務」別冊より。昭和42年に東京都が出したもののの中に個人負担の範囲が明記されている。徴収金の基準ではなくあくまで運営費標準。それはどれだけ公費で見なければいけないかという範囲を定めたもの。それを基にしてその後の私費負担基準に変わっていった。私費負担軽減の効果はあったが、個人のものになることが社会のためになるという部分が欠落している。筆者の調査では、昭和42年度に受益者負担額が8,915円だったのが、平成12年度になると48,821円と大幅に増加している。都道府県教育長協議会が、公費・私費を論じるために調査報告書を出している（昭和49年）。これが、今でも公費・私費区分を各都道府県・各市町村が検討する際のベースになっているのではないかと。しかし、これも問題がないわけではない。たとえば、書道の半紙や画用紙は私費扱いであり、楽器は公費として扱っているが現状では違っている。ただ、「公費負担適正化のための方策」のところでは、これは保護者負担軽減の実効を上げるための提案であるとして結んでいるので、固定化したものではないとの認識は持っている。練馬区での実態調査結果でもばらつきがある。例えば、半紙や絵画用画用紙は運営費標準では公費だが、都道府県教育長協議会では私費扱いとなっている。違いが結構あり、どちらも問題がある。北海道教育委員会でも負担区分のガイドラインを出している（平成11年）。道立学校のものだが、趣旨としては旅費など本来公費で扱われなければならないものがPTA予算から支出されているなど、そのことが社会問題化した時にそれらに対応するためのものだったと思われる。私費の部分が少なく、公費にしなさいという観点で作られている。

資料 3**保護者負担の軽減に向けた実践ポイント一覧**

学校名： _____

項目（ポイント）

- ①職員への働きかけ ②校内配分 ③予算執行 ④自己目標シート作成
⑤事務だより発行 ⑥町村教研 ⑦予算要求 ⑧予算要求ヒアリング
⑨一日入学説明時 ⑩校務分掌反省 ⑪学校評価 ⑫PTA会計見直し ⑬その他

上記の項目から選択のうえ、今後実践したい計画概要を以下に記入してください。

(選択項目)
(計画概要)
(実践内容)
(反省・評価)

資料 3**保護者負担の軽減に向けた実践ポイント一覧**学校名： A校 **項目（ポイント）**

- ①職員への働きかけ ②校内配分 ③予算執行 ④自己目標シート作成
⑤事務だより発行 ⑥町村教研 ⑦予算要求 ⑧予算要求ヒアリング
⑨一日入学説明時 ⑩校務分掌反省 ⑪学校評価 ⑫P T A会計見直し ⑬その他

上記の項目から選択のうえ、今後実践したい計画概要を以下に記入してください。

（選択項目）

- ②校内配分 ⑦予算要求 ⑧予算要求ヒアリング

（計画概要）

- ② 総合的な学習の予算が 80,000 円程現金で配分され、各学級に 3,000 円を配分する。使い道について説明する際に、保護者負担の軽減のためにも、有効に使ってくださいと呼びかけた。
- ⑦ 予算要望書に、保護者負担軽減も意図して予算配分されることを望みますと記載。
- ⑧ ヒアリングで、保護者負担軽減のためにテストや資料集などに支出ができるか確認しようと考えている。保護者負担軽減ということについて、委員会としての考えも聞いてみたい。

（実践内容）

②⑦⑧各場面で「保護者負担の軽減」という言葉を使って、職員及び教育委員会へ思いや意図は伝えた。

（反省・評価）

以上のように伝えたが、あまり説得力を持たせられなかった。自分の学校の具体的な保護者負担の状況や、他校の状況などを織り交ぜた資料があれば、自分自身のモチベーション向上につながったり、他者からの共感を得られやすくなるのではないか。負担軽減は進めたいが、どこまで求めていくべきなのか、自分自身でも自信をもって伝えることができていないことが課題。

保護者負担の軽減に向けた実践ポイント一覧

学校名 : B校 (1)

項目 (ポイント)

- ①職員への働きかけ ②校内配分 ③予算執行 ④自己目標シート作成
⑤事務だより発行 ⑥町村教研 ⑦予算要求 ⑧予算要求ヒアリング
⑨一日入学説明時 ⑩校務分掌反省 ⑪学校評価 ⑫PTA会計見直し ⑬その他

上記の項目から選択のうえ、今後実践したい計画概要を以下に記入してください。

(選択項目) ①⑦予算要求時に職員への働きかけ

(計画概要)

校内で予算要求資料を取りまとめる際に、それまでの決算状況や保護者負担額を職員に提示しながら、義務教育は本来無償であるべきことと、現実として保護者からの徴収金で賄われている部分があることを周知していく。それを踏まえたうえで職員から要望を集約し、保護者負担の軽減に結びつくような内容の予算要望資料を作成する。

(実践内容)

職員会議で予算要望について提案する際に、昨年度の決算状況と各学年・各教科ごとの保護者負担額資料を職員に提示し、保護者負担軽減を意識した予算要望資料の作成となるようお願いした。また、要望をあげる教材については、費用対(教育)効果を十分検証のうえ提出するようお願いした。

(反省・評価)

職員会議での私の伝え方が悪かったのか、予算要望書の提出が敷居の高いものになってしまったかもしれない。(期待したほど職員からの要望があがらなかった)

保護者負担の軽減に向けた実践ポイント一覧

学校名 : B校 (2)

項目 (ポイント)

- ①職員への働きかけ ②校内配分 ③予算執行 ④自己目標シート作成
⑤事務だより発行 ⑥町村教研 ⑦予算要求 ⑧予算要求ヒアリング
⑨一日入学説明時 ⑩校務分掌反省 ⑪学校評価 ⑫PTA会計見直し ⑬その他

上記の項目から選択のうえ、今後実践したい計画概要を以下に記入してください。

(選択項目) ⑧予算要求ヒアリング

(計画概要)

職員会議で確認された予算要望事項を受けて、保護者負担軽減(解消)の観点での資料を予算要望書に盛り込む。ヒアリングの際には、学校現場の実情を訴えながらできるだけ言質を取れるようにしつこく回答を求める。

(実践内容)

予算要望書に保護者負担の実情にかかわる各種資料を添付した。

- ・学校徴収金一覧表(学年ごとの補助教材費や旅行的行事代金など)
- ・学校外徴収金一覧表(PTA会費、同窓会費、給食費など)
- ・学校配分予算の昨年度の最終決算と今年度の中間決算状況

(現在の配分額ではこれ以上の保護者負担を軽減していくことは難しいことを訴える視点で作成)

上記の資料をもとに、実情を率直に伝える。教育委員会の回答の中には、補助教材の徴収金にかかわって、教科ごとの品目内訳の追加提出を求められた。

(反省・評価)

ヒアリングの前段で、教育委員会より今年度実績額の10%減を目標としてほしい旨の説明を受ける。学校としては日常的に消耗品の効果的購入や再利用・節減に努めており、現在の配分額では限界があることを伝えるとともに、保護者負担の実情を訴えたことで、教育委員会職員とは十分ではないが思いを共有できたと考える。

保護者負担の軽減に向けた実践ポイント一覧

学校名： C校

項目（ポイント）

- ①職員への働きかけ ②校内配分 ③予算執行 ④自己目標シート作成
⑤事務だより発行 ⑥町村教研 ⑦予算要求 ⑧予算要求ヒアリング
⑨一日入学説明時 ⑩校務分掌反省 ⑪学校評価 ⑫PTA会計見直し ⑬その他

上記の項目から選択のうえ、今後実践したい計画概要を以下に記入してください。

（選択項目）①、⑦、⑧

（計画概要）年度当初は PTA 運営費の削減に努めようとしたが、学校の意向もあり、それは難しいとの判断があったため、計画を変更し「修学旅行の補助金申請」に努めることにした。

昨年度までは7万円以内の負担で修学旅行にいけていたが、今年度より生徒数減少や新幹線開通により修学旅行負担額が8万円以上となってしまうことから、7万円を超した分については委員会に補助してもらおうよう申請する形をとることにした。

（実践内容）

- ① 職員の方々にまずは説明し、会議で決定する。その後、保護者会を開き保護者の意向も聞く。
⑦⑧予算要求、ヒアリングで委員会へ説明。保護者だけでなく、教職員の旅費の赤字部分の補助も認められた。

（反省・評価）

ヒアリングでは、自分が思っていた以上に成果があったと感じている。来年度は、補助教材費負担軽減に努めたい。

保護者負担の軽減に向けた実践ポイント一覧

学校名： D校 (1)

項目（ポイント）

- ①職員への働きかけ ②校内配分 ③予算執行 ④自己目標シート作成
⑤事務だより発行 ⑥町村教研 ⑦予算要求 ⑧予算要求ヒアリング
⑨一日入学説明時 ⑩校務分掌反省 ⑪学校評価 ⑫PTA会計見直し ⑬その他

上記の項目から選択のうえ、今後実践したい計画概要を以下に記入してください。

(選択項目)	①
(計画概要)	以前作成した文書を見直し、作成し直すと共に、職員に提示する。
(実践内容)	2014年度にブロック研で学習したことをもとに「保護者負担軽減資料（保護者負担軽減に向けて）」の内容を変更した。変更点は①判例から義務教育費無償の範囲が教材全般にわたっていると考えられること。②現在の子どもの置かれている状況の内容を追加したこと。の2点です。それを2月の職員会議で提案、説明をおこなった。
(反省・評価)	その時は特別反応は無かったが、新年度の保護者負担軽減に向けての具体的な提案時などの反応は以前より良いように感じた。予算執行段階でも必要な教材が公費化できないかの問い合わせが多くなっているように思う。

保護者負担の軽減に向けた実践ポイント一覧

学校名： D校 (2)

項目（ポイント）

- ①職員への働きかけ ②校内配分 ③予算執行 ④自己目標シート作成
⑤事務だより発行 ⑥町村教研 ⑦予算要求 ⑧予算要求ヒアリング
⑨一日入学説明時 ⑩校務分掌反省 ⑪学校評価 ⑫PTA会計見直し ⑬その他

上記の項目から選択のうえ、今後実践したい計画概要を以下に記入してください。

(選択項目)	③
(計画概要)	これまで本校で進めてきた経過をまとめ、職員へ周知する中、2015年度もさらに負担軽減を進めるように執行計画を立てる。
(実践内容)	新年度、児童数・学級数・職員数が減る中、配分予算が大幅に減額されていなかったため、前年度以上の軽減の提案をおこなった。提案の際に以前より少し説明の内容を増やした。
(反省・評価)	予算要求時に教育委員会に保護者負担軽減について要求していることが影響していると思われるので、今後も続けていきたいし、次年度以降も続けられるよう引き継いでいきたい。

保護者負担の軽減に向けた実践ポイント一覧

学校名： E校

項目 (ポイント)

- ①職員への働きかけ ②校内配分 ③予算執行 ④自己目標シート作成
⑤事務だより発行 ⑥町村教研 ⑦予算要求 ⑧予算要求ヒアリング
⑨一日入学説明時 ⑩校務分掌反省時 ⑪学校評価 ⑫PTA会計見直し ⑬その他

上記の項目から選択のうえ、今後実践したい計画概要を下記に記入してください。

(選択項目)	⑦
(計画概要)	保護者負担軽減について、具体的に項目をあげ要求する。
(実践内容)	<p>・教材費の保護者負担の軽減</p> <p>配分予算の増額があり、年間児童一人あたり1000円+αを教材購入費にあて保護者負担の軽減を予定していましたが、値上げ分に吸収され新たな品目を増やすことにはつながりませんでした。今後も消費税率増加で家計がより厳しくなる現状にあります。より一層、教材の精選につとめるとともに増額を要望いたします～と盛り込みました。</p>
(反省・評価)	<p>ヒアリングでもこの項目は強調しました。消費税8パーセントになった年よりだけでなく今年も順次値上げがみられたのでそれらにも触れながら増額を申し入れました。委員会の反応は悪くはなかったように思います。職員会議での報告では、職員もうなずきながら聞いている先生もいて、少しずつでも理解は深まっています。</p>

保護者負担の軽減に向けた実践ポイント一覧

学校名： F校

項目（ポイント）

- ①職員への呼びかけ ②校内配分 ③予算執行 ④自己目標シート
⑤事務だより発行 ⑥町村教研 ⑦予算要求 ⑧予算要求ヒアリング
⑨一日入学説明時 ⑩公務文章反省 ⑪学校評価 ⑫PTA会計見直し ⑬その他

上記の項目から選択のうえ、今後実践したい計画概要を以下に記入してください。

(選択項目)
①職員への働きかけ ④自己目標シート作成 ⑦予算要求
(計画概要)
① 年度初め職員会議で校務分掌計画で提案する。 ④今年度の目標としてとりあげ、校長に提出。 ⑦10月をめどに職員から意見を集約する。
(実践内容)
①時間のなかでの提案となった。どれだけ浸透したかは・・・？ ④『学校事務の実務』で「今年度の具体的な目標として保護者負担の軽減を考えた予算要望をする。」また『目標達成のための取組方法等』では「近隣町村の学校事務と連携等で情報収集し小中全体的な取組として進める。」と明記した。 ⑦比較的恵まれている予算のなか、どの部分で負担軽減を要望するか職員と相談。 その結果、テスト・ワークの保護者負担を現状の半額（平均1,500円/人）から0円（村の全額負担へ：平均3,000円/人）に要望することとなった。
(反省・評価)
・職員への反応としては、保護者負担軽減に反対の声はなかったが、恵まれている現状のなか、強く押し進めようという雰囲気は薄かった。自分としても、恵まれている感があり、伝える力の弱さとなってしまった。 ・ヒアリングでは、昨年に引き続きスポーツ振興センター共済掛金の全額負担と絡めて要望したが、「村の政策的な問題でもあるため即答はできないが、厳しいのではないか」という回答だった。

保護者負担の軽減に向けた実践ポイント一覧

学校名： _____ G校 _____

項目（ポイント）

- ①職員への働きかけ ②校内配分 ③予算執行 ④自己目標シート作成
⑤事務だより発行 ⑥町村教研 ⑦予算要求 ⑧予算要求ヒアリング
⑨一日入学説明時 ⑩校務分掌反省 ⑪学校評価 ⑫PTA会計見直し ⑬その他

上記の項目から選択のうえ、今後実践したい計画概要を以下に記入してください。

(選択項目) ②校内配分
(計画概要) ・各授業や学級活動において何をどの程度私費で負担してもらっているのか（保護者から集めているのか、または教諭が負担しているのか）が把握し切れていないため、各教諭に確認するなどして現状の把握に努める。 ・例年校内配分予算に余裕が生じていることから、上記で把握した現状を踏まえ、管理職や教育委員会と調整した上で、まずは校内配分予算の範囲内で保護者負担の軽減を目指す。
(実践内容) ・本校において保護者負担となっている項目は、全額負担が学力テスト、記念写真、スキー等の保険料などで、半額負担がワーク類。 その他実習材料費や、技術家庭科のキット、セット教材は全額公費で賄われている。また、修学旅行経費も半額が補助される他、部活動の遠征費も補助金で村が負担。 ・村教委に保護者負担軽減について聞いてみたが、「これ以上の保護者負担軽減は考えていない」との回答あり。 次年度予算のヒアリングにて、学力テスト等の全額公費負担化について打診する予定。
(反省・評価) ・ヒアリングに際し、村教委、本校管理職ともに保護者負担軽減はもう十分に行われている、という認識であることがわかった。まずは働きかけをしていく必要があると考えている。

保護者負担の軽減に向けた実践ポイント一覧

学校名： H町

項目（ポイント）

- ①職員への働きかけ ②校内配分 ③予算執行 ④自己目標シート作成
⑤事務だより発行 ⑥町村教研 ⑦予算要求 ⑧予算要求ヒアリング
⑨一日入学説明時 ⑩校務分掌反省 ⑪学校評価 ⑫PTA会計見直し ⑬その他

上記の項目から選択のうえ、今後実践したい計画概要を以下に記入してください。

(選択項目)	⑦
(計画概要)	<p>予算要求に「保護者負担軽減」を町内全校統一要求となるよう、各学校で提案することとした。</p> <p>例年、町教研事務部会で予算要求活動以前に町内統一要求内容の確認を行っている。統一要求が、必ず毎年あるというわけではないが、今年度は「保護者負担軽減」について取り組んでみることで年度当初に計画を立てた。</p>
(実践内容)	<p>9月の部会で、再度確認し、各校で進めた。何を軽減するかについては、各学校の実情に合わせることにした。</p>
(反省・評価)	<p>結果的に全校で保護者負担軽減の内容が、要求書に掲載された。ヒアリング時に各校から説明されたこともあり、実現の可能性も高まったと考えられる。</p> <p>過去の町教研部会内の調査を基に、以前に負担項目の調整も図られているので、今後は負担軽減項目の統一についても考慮していく必要がある。</p>

保護者負担の軽減に向けた実践ポイント一覧

学校名： I 校

項目 (ポイント)

- ①職員への働きかけ ②校内配分 ③予算執行 ④自己目標シート作成
⑤事務だより発行 ⑥町村教研 ⑦予算要求 ⑧予算要望ヒアリング
⑨1日入学説明時 ⑩校務分掌反省 ⑪学校評価 ⑫PTA会費見直し ⑬その他

上記の項目から選択の上、今後実践したい計画概要を以下に記入してください。

(選択項目) ①職員への働きかけ ⑤事務だよりの発行
(計画概要) ① ⑤ 公費テスト代については、一部公費負担でまかなうことを事前に口頭でお知らせする。事務だよりでもお知らせする。 保護者負担軽減についての資料を先生方に配布する。
(実践内容) 保護者負担軽減についての資料を配付して、学校で用意できるものは学校で購入するという口頭で伝える。一回では定着していかないので何度も機会を見つけて話していく。
(反省・評価) ① 国語後期テスト代を全学年公費負担とした。昨年度もやっていたので先生方に戸惑いはなくスムーズにできた。事務だよりを使わずに口頭のみとりくみとなってしまった。文字として残しておいた方がよかった。 また、2学期の執行状況の提示した際も必要なものがあつたら安易に保護者担にせず相談してくださいと伝えた。誰も相談には来なかった。 様々な場面で若い先生方にも「このくらい親に負担させればいいのに」という考え方があるのが見える。もしくは「このくらい自分で負担するわ」などという考え方も相変わらずある。こちらでは言われたものについては確実に買うという姿勢をみせているにもかかわらずこの考え方はどこからしみついたのだろう。 たいした金額ではないので「自分が買っていい」と思うから「保護者も買っていい」という考え方につながっていくのか。保護者の経済状況は様々で、なかなかそこに思いを寄せることは難しいのかもしれない。 それとも事務が怖くていえないのかとも考える。私もなるべく優しく対応していると思うのだが足りないのかも。 事務便りや保護者負担軽減の資料を提示することが出来なかった。 やはり口頭だけよりもより強く働きかけていくためには文書でお知らせしていくことも大切と思い反省している。

保護者負担の軽減に向けた実践ポイント一覧

学校名： J校

項目（ポイント）

- ①職員への働きかけ ②校内配分 ③予算執行 ④自己目標シート作成
⑤事務だより発行 ⑥町村教研 ⑦予算要求 ⑧予算要求ヒアリング
⑨一日入学説明時 ⑩校務分掌反省 ⑪学校評価 ⑫PTA会計見直し ⑬その他

上記の項目から選択のうえ、今後実践したい計画概要を以下に記入してください。

(選択項目) ① ⑦

(計画概要)

年度はじめの教材選択時に保護者の負担が増えないように、複数教材の比較をお願いする。校内配分予算から教材費として支出する予算額を決める。

町教研の部会内でも保護者負担について、交流する。

予算要望の中で保護者負担軽減を考えた要望をする。

年度末反省にて、予算執行について反省する中で保護者負担軽減についての取り組み状況を反省し、次年度へつなげる。

(実践内容)

年度はじめ、教材選択時に複数教材の単価比較をお願いし、保護者の負担が多くならないようお願いした。校内配分予算から支出可能な金額を教材費に支出した。

(反省・評価)

予算要望の資料に保護者負担軽減の内容を記載したが、保護者負担に具体的につながるような内容の要望にはならなかった。

保護者負担の軽減に向けた実践ポイント一覧

町村名： K町

項目（ポイント）

- ①職員への働きかけ ②校内配分 ③予算執行 ④自己目標シート作成
⑤事務だより発行 ⑥町村教研 ⑦予算要求 ⑧予算要求ヒアリング
⑨一日入学説明時 ⑩校務分掌反省 ⑪学校評価 ⑫PTA会計見直し ⑬その他

上記の項目から選択のうえ、今後実践したい計画概要を以下に記入してください。

（選択項目）

- ⑤事務だより発行 ⑥町村教研 ⑦予算要求 ⑧予算要求ヒアリング

（計画概要）

町教研学校事務部会において、次年度予算要望書作成時に町内全校が「保護者負担軽減」に関する要求を盛り込むことを確認した。

また、その後のヒアリング結果について交流し、12月発行予定の保護者向け事務だよりに結果内容を掲載することとした。

（実践内容）

町教研学校事務部会において、統一要望項目について検討を行う。

ヒアリング結果について、交流を行う。

保護者向け事務だよりに盛り込む内容を、コミュニティ・スクール担当事務職員も交えて検討し、発行する。

（反省・評価）

ここ数年、「統一要求の検討→ヒアリング結果交流→保護者向け事務だよりの発行」をサイクル化し徐々にではあるが「保護者負担軽減」について理解はされてきていると思われる。しかし、現実的な効果がどれだけ上がっているのかについては不透明な部分もあり、しっかりと検証しながら、取組を進めていきたい。

資料 4

2015(平成27)年7月17日

公費・保護者負担軽減状況調査(小学校20校分結果)

2枚目以降は中学校分追加分

品名	該当する箇所に○			特記事項(一部の公費負担の場合等の説明)	練馬区立小69校の調査平成5・10・13年の調査平均(回収80%)		参 考		
	公費	私費	購入なし		公費	私費	東京都義務教育費運営費標準(S42年改訂時)による扱い	都道府県教育長協議会「経費事例別の公費私費負担区分」提言(S49年)による扱い	
一般分	道具箱	1	13	6	菓子折りの空き箱持参①	5	31		
	氏名ゴム印	20				44	1	児童数分公費	
	個人ファイル	11	8	1		10	17		
	国語辞典	11	5	3		19	4	学校備付21冊公費	共通参考書は公費
	ワーク・ドリル	4	16			0	41		私費
	卒業証書筒	6	8	5	寄贈5校	29	11	人数分を公費	
国語	書き方ペン	6	13	1		4	20		
	書き方鉛筆	1	13	6		5	18		
	書道半紙	16	4			39	1	1人年間50枚を公費	私費
社会科資料集		3	14	3		4	29		副読本は公費
算数	算数セット	4	13	3	保育所から寄贈①	7	21	おはじき1,000個入18組、かぞえ棒6組	
	かけ算九九カード	4	3	13		3	13		
生活	あさがおセット	7	12	1	観察バックも公費①、種だけ公費①	5	33	種、鉢、支柱、肥料を公費	
	買い物現金	1	9	9		2	8		
理科	豆電球・ソケット	17	3			19	16	公費	
	光電池本体	14	3	3		25	11	学校備付41台公費	
	光電池のおもちゃ	6	13	1		9	25	モーター、タイヤ、プロペラ、乾電池ホルダー等を公費	
	乾電池	19	1			27	13	学習共通で各200個ずつ公費	
音楽	歌集	4	5	11		5	29		
	鍵盤ハーモニカ		16	2	建設協会より寄贈①、学校備品を貸与①	5	2		
図画工作	クレヨン・パステル	1	19			19	8		
	絵画用画用紙	20				40	1	共通学習用でB3の170k60を公費	私費
	粘土	2	17	1	保育所から寄贈①	8	20	彫塑用1人1.5kg公費	
	版画和紙	18	2			33	3	1人四切4枚を公費	
家庭科調理材料		16	4			7	10	受益者負担	
体育用とびなわ		4	16			9	8	3種各40本公費	公費

資料 5

保護者負担状況調査（管内中学校回収分）（H26実績）

	①中			②中			③中(H27)			④中		
	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年
国語	600	600	600	1,700	1,020	1,020	980	980	980	667	590	667
数学	770	770	770	1,270	1,270	1,270	530	530	1,090	557	557	557
社会	1,330	860	530	2,160	700	470	2,470	1,000	1,330	2,171	880	1,194
理科	1,890	610	610	540	540	940	1,155	475	560	630	630	630
英語	1,040	1,040	1,040	1,150	1,150	500	630	630	630	1,647	1,570	1,700
保健体育	1,201	430	430	0	0	0	1,380	0	0	782	0	0
美術	3,265	2,053	3,430	742	660	924	835	465	0	2,077	854	957
技術	1,080	2,073	540	1,541	3,844	751	1,160	1,463	1,185	2,160	0	2,260
家庭	2,340	0	0	500	515	0	600	520	970	940	1,040	220
音楽	2,100	2,100	0	0	0	0	0	0	0	68	68	68
学力テスト	1,280	1,280	1,600	640	640	1,280	960	640	1,920	640	640	1,280
その他									1,130			129
スキーリフト代等							3,400	3,400	3,400			
芸術鑑賞代										1,000	1,000	1,000
合計	16,896	11,816	9,550	10,243	10,339	7,155	14,100	10,103	13,195	13,339	7,829	10,662
	⑤中(H27)			⑥中(半額補助した額)			⑦中			⑧中		
	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年
国語	600	579	579	340	0	0	0	0	0	707	707	707
数学	1,144	1,030	1,030	277	277	277	1,069	1,069	1,069	527	527	527
社会	1,450	870	530	750	465	615	1,910	500	560	1,433	870	1,223
理科	590	590	1,730	625	285	285	430	430	430	1,290	610	610
英語	2,217	681	681	610	610	610	1,350	610	1,170	1,064	698	650
保健体育	1,438	0	0	716	0	0	1,220	430	430	772	40	40
美術	4,246	2,020	2,234	370	0	0	5,079	930	1,346	1,942	415	1,020
技術	3,100	5,859	4,592	309	0	0	3,580	4,406	310	3,888	3,290	100
家庭	331	371	787	308	0	0	1,720	1,750	0	1,966	1,720	1,520
音楽	114	114	114	0	0	0	0	0	0	110	0	0
学力テスト	1,280	1,280	2,240	960	960	1,920	1,280	1,280	2,240	960	960	1,920
その他												
スキーリフト代等	5,860	5,860								1,300	1,300	1,300
芸術鑑賞代	1,000	1,000	1,000									
合計	23,370	20,254	15,517	5,265	2,597	3,707	17,638	11,405	7,555	15,959	11,137	9,617

	⑨中			⑩中			⑪中			⑫中		
	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年
国語	960	960	960	550	570	570	1,830	1,150	1,150	540	540	540
数学	582	582	1,170	540	540	540	493	493	493	530	740	560
社会	1,610	1,610	600	2,270	870	1,260	2,270	850	1,260	2,390	940	540
理科	570	570	570	570	570	570	1,340	620	620	610	610	610
英語	872	650	650	1,331	1,051	1,051	660	660	1,010	740	720	770
保健体育	932	0	0	0	0	0	1,421	0	0	692	0	0
美術	735	748	700	0	0	0	644	780	1,230	817	377	697
技術	2,340	2,350	950	0	1,720	0	2,456	2,144	0	1,990	1,850	1,510
家庭	500	700	500	620	290	0	780	560	100	1,715	500	300
音楽	92	0	0	0	0	0	1,053	0	0	140	140	140
学力テスト				0	0	0						
その他												
スキーリフト代等				2,500	2,500	2,500						
芸術鑑賞代												
合計	9,193	8,170	6,100	8,381	8,111	6,491	12,947	7,257	5,863	10,164	6,417	5,667

	⑬中			⑭中								
	1年	2年	3年	1年	2年	3年						
国語	1,280	600	600	610	610	590						
数学	527	527	1,103	770	550	550						
社会	1,530	0	700	1,500	0	640						
理科	551	551	551	1,220	500	500						
英語	800	610	610	920	660	660						
保健体育	962	230	230	1,230	440	440						
美術	4,030	550	360	1,500	1,600	1,100						
技術	944	3,660	2,570	3,430	3,340	0						
家庭	944	648	0	720	0	660						
音楽	0	0	0	820	0	0						
学力テスト	640	640	1,920									
その他												
スキーリフト代等	5,450	5,450	4,100									
芸術鑑賞代												
合計	17,658	13,466	12,744	12,720	7,700	5,140						